

司祭不在のときの主日の集会祭儀(試用版)
—「ことばの祭儀」の形式(聖体拝領を行う場合)—

開祭

1 初めの聖歌

会衆が集まると、各共同体で決めた方法によって式の始まりが知らされる。

一同は起立してふさわしい聖歌を歌う。

聖歌が終わると、司会者とともに自らに十字架のしるしをする。

司 ✦ 父と子と聖霊のみ名によって。

会衆 アーメン。

2 あいさつ

助祭が司式する場合、たとえば次のようにあいさつする。

助 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが皆さんとともに。

会衆 また司祭とともに。

または

助 主イエス・キリストによって、神である父からの恵みと平和が皆さんとともに。

会衆 また司祭とともに。

または

助 主は皆さんとともに。

会衆 また司祭とともに。

3 信徒が司会する場合、以下のようなことばで会衆にあいさつする。

司 主イエス・キリストによって、神である父からの恵みと平和が、
わたしたちの上にありますように。

会衆 アーメン。

4 招きのことば

司会者は、ふさわしい言葉で一同を招く。

5 回心

司会者は一同を回心に招く。

短い沈黙の後、司会者の先唱に会衆は応唱する。

司 打ち砕かれた心をいやすために遣わされた主よ、あわれみたまえ。

会衆 主よ、あわれみたまえ。

司 罪びとを招くために来られたキリスト、あわれみたまえ。

会衆 キリスト、あわれみたまえ。

司 父の右の座にあって、

わたしたちのためにとりなしてくださる主よ、あわれみたまえ。

会衆 主よ、あわれみたまえ。

司 全能の神がわたしたちをあわれみ、罪をゆるし、

永遠のいのちに導いてくださいますように。

会衆 アーメン。

6 集会祈願

司 祈りましょう。

一同はしばらく沈黙のうちに祈る。

司 ……わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆 アーメン。

ことばの典礼

7 一同は着席し、その日のミサのことばの典礼を続ける。

8 第一朗読

朗読者はミサと同じように聖書を朗読する。朗読の後、一同は沈黙のうちに神のことばを味わう。

9 答唱詩編

一同は答唱詩編を歌うか唱える。

10 第二朗読

第一朗読と同じように行われる。朗読の後、一同は沈黙のうちに神のことばを味わう。

11 アレルヤ唱（詠唱）

一同は起立し、アレルヤ唱（詠唱）を歌う。

12 福音朗読

通常は、助祭が朗読する。

助祭が不在で信徒の司会者が朗読する場合、朗読前の「主は皆さんとともに」は省く。

助 主は皆さんとともに。

会衆 また司祭とともに。

助 ○○○による福音。

会衆 主に栄光。

朗読の後、助祭または信徒の司会者は福音書を両手で掲げて唱える。

助 キリストに賛美。

会衆 キリストに賛美。

13 説教（勧めのことば）

助祭が司式する場合は説教を行う。

信徒が司会する場合、司祭があらかじめ準備した説教を読み上げるか、司祭とともに準備した、福音朗読に基づくふさわしい勧めのことばを述べるができる。

説教（勧めのことば）の後、一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

14 信仰宣言

一同は起立して、以下のいずれかの信条を歌うか唱える。

ニケア・コンスタンチノーブル信条

一同 わたしは信じます。唯一の神、全能の父、

天と地、見えるもの、見えないもの、すべてのものの造り主を。

わたしは信じます。唯一の主イエス・キリストを。

主は神のひとり子、すべてに先立って父より生まれ、

神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、

造られることなく生まれ、父と一体。すべては主によって造られました。

主は、わたしたち人類のため、わたしたちの救いのために天からくだり、

以下、「人となりました」まで一同は礼をする。

聖霊によって、おとめマリアよりからだを受け、人となりました。

ポンティオ・ピラトのもとで、わたしたちのために十字架につけられ、

苦しみを受け、葬られ、

聖書にあるとおりの三日目に復活し、天に昇り、父の右の座に着いておられます。

主は、生者と死者を裁くために栄光のうちに再び来られます。

その国は終わることがありません。

わたしは信じます。主であり、いのちの与え主である聖霊を。

聖霊は、父と子から出て、父と子とともに礼拝され、栄光を受け、

また預言者をとおして語られました。

わたしは、聖なる、普遍の、使徒的、唯一の教会を信じます。

罪のゆるしをもたらす唯一の洗礼を認め、

死者の復活と来世のいのちを待ち望みます。

アーメン。

使徒信条

一同 天地の創造主、全能の父である神を信じます。

父のひとり子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。

以下、「おとめマリアから生まれ」まで一同は礼をする。

主は聖霊によってやどり、おとめマリアから生まれ、

ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、

十字架につけられて死に、葬られ、陰府に下り、

三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父である神の右の座に着き、
生者と死者を裁くために来られます。

聖霊を信じ、聖なる普遍の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだの復活、永遠のいのちを信じます。

アーメン。

15 共同祈願（信者の祈り）

司会者の招きが続いて、他の奉仕者が意向を唱える。

最後に、司会者が結びの祈りを唱え、会衆は応唱する。

司 ……わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆 アーメン。

16 賛美と感謝の祈り

司会者の招きが続いて、一同は賛美と感謝の祈りを唱える。

以下の詩編から一つを選ぶか、ふさわしい聖書の歌や賛美の歌を用いることもできる（付録参照）。

司 神のかぎりない愛といつくしみをたたえ、感謝をこめて唱えましょう。

詩編100 神に向かって歩む喜び（詩編100・1－5）

先 世界よ、神に喜びの声をあげ、歓呼の歌をささげつつ、
み前に進み、喜んで神に仕えよ。

会衆 神に感謝をささげて、その名をたたえよう。

先 主こそ神であると悟れ。神はわたしたちを造られた。
わたしたちは神のもの、その民、その牧場の羊。

会衆 神に感謝をささげて、その名をたたえよう。

先 感謝に満ちて門をくぐり、賛美を歌って中庭にはいる。
神に感謝をささげて、その名をたたえよう。

会衆 神に感謝をささげて、その名をたたえよう。

先 神はいつくしみ深く、そのあわれみは限りなく、
そのまことは代々におよぶ。

会衆 神に感謝をささげて、その名をたたえよう。

または

詩編113 神の名に賛美と栄光 (詩編113・1-9)

- 先 (ハレルヤ。) ほめよ、神に仕える者よ。神の名をほめたたえよ。
会衆 神の名に賛美、今よりとこしえに。
先 日の昇るところから沈むところまで、神の名はたたえられる。
神はすべての民にあがめられ、その栄光は天にそびえる。
会衆 神の名に賛美、今よりとこしえに。
先 わたしたちの神、主に、及ぶ者はない。
神は高く座し、天と地を見おろされる。
会衆 神の名に賛美、今よりとこしえに。
先 神は貧しい人を立ち上がらせ、恵まれない人を高く上げ、
支配者とともにすわらせ、民の支配者とともに並ばせる。
会衆 神の名に賛美、今よりとこしえに。
先 神は、子のない女に子どもを与え、
家庭で、幸せな母の座に着かせる。(ハレルヤ。)
会衆 神の名に賛美、今よりとこしえに。

または

詩編118 救いのわざを感謝する歌 (詩編118・1-4、22-29)

- 先 神に感謝せよ、神はいつくしみ深く、そのあわれみは永遠。
会衆 神に感謝せよ、神はいつくしみ深く、そのあわれみは永遠。
先 イスラエルよ、叫べ。「神のいつくしみは永遠。」
会衆 神に感謝せよ、神はいつくしみ深く、そのあわれみは永遠。
先 アロンの家よ、叫べ。「神のいつくしみは永遠。」
会衆 神に感謝せよ、神はいつくしみ深く、そのあわれみは永遠。
先 神をおそれる者よ、叫べ。「神のいつくしみは永遠。」
会衆 神に感謝せよ、神はいつくしみ深く、そのあわれみは永遠。
先 家造りの捨てた石が、もっともたいせつな石となった。
これは神のわざ、人の目には不思議なこと。
会衆 神に感謝せよ、神はいつくしみ深く、そのあわれみは永遠。
先 きょうこそ、神が造られた日、この日をともに喜び祝おう。
会衆 神に感謝せよ、神はいつくしみ深く、そのあわれみは永遠。
先 神よ、救いをわたしたちに。神よ、しあわせをわたしたちに。
神の名によって集まる人に神の祝福。祝福は神の家からあなたがたの上に。
会衆 神に感謝せよ、神はいつくしみ深く、そのあわれみは永遠。
先 主はわたしたちを照らしてくださる神。枝を携えて行列にはいり、祭壇まで進もう。
あなたはわたしの神、あなたに感謝し、あなたをたたえる。
会衆 神に感謝せよ、神はいつくしみ深く、そのあわれみは永遠。

または

詩編136 神のいつくしみは永遠 (詩編136・1-9、12-14、16、21-26)

先 神に感謝せよ。神はいつくしみ深く、そのあわれみは永遠。
 神々をはるかに越える神に感謝せよ。神のいつくしみは永遠。

会衆 すべてを治める主に感謝せよ。神のいつくしみは永遠。
 神はただひとり、偉大なしるしを行われる。神のいつくしみは永遠。

先 神は英知で天を造られた。神のいつくしみは永遠。
 神は水の上に陸をすえられた。神のいつくしみは永遠。

会衆 神は輝く光を造られた。神のいつくしみは永遠。
 神は昼を治める太陽を造られた。神のいつくしみは永遠。
 神は夜を治める月と星を造られた。神のいつくしみは永遠。

先 神は力強い手をさし伸べて、あしの海を二つに分けられた。神のいつくしみは永遠。
 神はイスラエルにその中を渡らせた。神のいつくしみは永遠。
 神は民を率いて荒れ野を導かれた。神のいつくしみは永遠。

会衆 神は、かれらの土地の分けまえとして、
 しもベイשראלに与えられた。神のいつくしみは永遠。
 神はさげすまれているわたしたちを、心に留められた。神のいつくしみは永遠。

先 神ははむかう者からわたしたちを救われた。神のいつくしみは永遠。
 神はいのちあるすべてのものに食物を恵まれる。神のいつくしみは永遠。

会衆 すべてを越える神に感謝せよ。神のいつくしみは永遠。

または

詩編147 造り主である神への賛美 (詩編147・1-11)

先 (ハレルヤ。) 神をたたえ、賛美の歌をうたおう。

会衆 わたしたちの神をたたえることは、美しく正しい。

先 神はエルサレムを建て直し、イスラエルの散らされた者を集められる。

会衆 失意の人々をささえ、その傷をいやされる。

先 神は星の数を定め、そのすべてに名をつけられる。

会衆 わたしたちの主は力に満ちて偉大。その知恵ははかり知れない。

先 神はへりくだる人をささえ、逆らう者を地に倒される。

会衆 感謝の歌を神に歌い、たて琴に合わせてわたしたちの神をたたえよ。

先 神は雲で天をおおい、地に雨を降らせ、野山には若草がもえる。

会衆 野のけもの、えさを求めるからすのひなにも、神は食物を与えられる。

先 神は軍馬の力を望まず、兵士の数を喜ばれない。

会衆 神が喜びとされるのは、神をおそれ、そのいつくしみを待ち望む人。

または

詩編150 賛美の合奏 (詩編150・1-6)

先 (ハレルヤ。) 聖所におられる神をたたえよ。大空にみなぎる神の力をたたえよ。

会衆 そのわざは偉大。神をたたえよ。すべてを越える神をたたえよ。

先 角笛を吹いて神をたたえよ。琴を弾き、たて堅琴をかなでて神をたたえよ。

会衆 鼓と舞を合わせて神をたたえよ。弦をかなで、笛を吹いて神をたたえよ。

先 高鳴るシンバルで神をたたえよ。鳴り響くシンバルで神をたたえよ。
会衆 いのちあるすべてのものは神をたたえよ。(ハレルヤ。)

交わりの儀

17 賛美と感謝の祈りが終わると、司会者あるいは他の奉仕者は祭壇の準備をする。

18 主の祈り

司会者の招きが続いて、一同は主の祈りを唱える。

一同 天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。
み国が来ますように。
みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。
わたしたちの罪をおゆるしてください。わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

19 平和のあいさつ

適当であれば、司会者の招きが続いて、一同は手を合わせ、たとえば「主の平和」と言って互いに礼をすることができます。

20 拝領

司会者は、会衆に向かってはっきりとした声で唱える。

司 神の小羊の食卓に招かれた者は幸い。

一同 主よ、あなたは神の子キリスト、永遠のいのちの糧、
あなたをおいてだれのところに行きましょう。

21 拝領が始まると拝領の歌を歌うことができる。

司会者（と聖体授与の臨時の奉仕者）はホスティアを取って拝領者一人ひとりに示して言う。

司 キリストの御からだ。

拝領者 アーメン。

22 拝領後、一同は着席してしばらく沈黙のうちに祈る。

適当であれば、詩編か他の賛美の歌、もしくは賛歌を歌うことができる。

23 拝領祈願

司 祈りましょう。

一同は司会者ととともにしばらく沈黙のうちに祈る。

司 ……わたしたちの主イエス・キリストによって。
会衆 アーメン。

閉祭

24 お知らせ

必要に応じて会衆に対して短いお知らせが行われる。

25 祝福と派遣

助 主は皆さんとともに。

会衆 また司祭とともに。

助 全能の神、父と子と聖霊の祝福が ✝ 皆さんの上にありますように。

会衆 アーメン。

助 行きましょう。主の平和のうちに。(アレルヤ。)

会衆 神に感謝。(アレルヤ。)

信徒が司会する場合、会衆とともに十字架のしるしをしながら言う。

司 ✝ 全能の神がわたしたちを祝福し、

すべての悪から守り、永遠のいのちに導いてくださいますように。

会衆 アーメン。

26 結びにふさわしい聖歌を歌うことができる。

付録 賛美と感謝の祈り

歌う場合は、『典礼聖歌』と『教会の祈り』の旋律を用いる。

一 賛美の歌

1. 栄光の賛歌

天のいと高きところには神に栄光、
地には善意の人に平和あれ。
われら主をほめ、主をたたえ、
主を拝み、主をあがめ、
主の大いなる栄光のゆえに感謝し奉る。
神なる主、天の王、全能の父なる神よ。
主なる御ひとり子、イエス・キリストよ。
神なる主、神の小羊、父のみ子よ。
世の罪を除きたもう主よ、
われらをあわれみたまえ。
世の罪を除きたもう主よ、
われらの願いを聞き入れたまえ。
父の右に座したもう主よ、
われらをあわれみたまえ。
主のみ聖なり、主のみ王なり、
主のみいと高し、イエス・キリストよ。
聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに。
アーメン。

2. 賛美の賛歌（テ・デウム）

すべてのものの主、神よ、
あなたをたたえて歌う。
永遠の父よ、
世界はあなたをあがめとうとぶ。

神の使い、力あるもの、
ケルビムもセラフィムも
絶えることなく
高らかに賛美の声をあげる。

聖なる主、聖なる主、
すべてを治める神、
あなたの栄光は
天地をおおう。

ともに声を合わせ、
あなたをほめ歌う
救いを告げた預言者の群れ、
けだかい使徒と殉教者。

世界に広がる教会も
あなたをたたえる。
偉大な父、まことのひとり子、
あかしの力・聖霊を。

栄光に輝く王、
勝利のキリストよ、
とこしえにあなたは
父のひとり子。

すべての人の救いのために、
おとめから生まれ、
死に打ち勝ち、
信じる者に神の国を開かれた。

父の右に座し、
すべてを裁くために、
栄光のうちに
再び来られる。

とうとい血にあがなわれた
わたしたちを支えてください。
諸聖人とともに
とわのいのちを喜ぶことができるように。

神よ、あなたの民を救い、
従う者を祝福し、
いつまでも
高め、導いてください。

日ごとに感謝をささげ、
世々にあなたの名をほめたたえる。
わたしたちを今日も、
罪からお守りください。

神よ、豊かなあわれみをわたしたちに。
あなたに寄り頼むわたしたちに。
あなたにかけたわたしの希望は
とこしえに揺るがない。

二 聖書の歌

1. 旧約の歌 (歴代誌上 29・10-13)

栄光と力は神のもの

神よ、わたしたちの先祖イスラエルの神よ、
あなたは代々にたたえられる。
神よ、あなたは偉大、
力と輝き、栄光と威光はあなたのもの。

天にあるもの、地にあるものは、みな、あなたのもの。
国はあなたのもの、あなたはすべての上に立つかた。
富と誉れはあなたから、
あなたはすべてのものを支配される。

あなたの手には力と権能、
すべてをその手で高め、強められる。
わたしたちの神よ、今、あなたに感謝し、
あなたのとうとい名をほめたたえる。

2. 旧約の歌 (ユディト 16・2-3、13-15)

新しい歌を造り主に

鼓をもって神をたたえよ。
シンバルを取って神をたたえて歌え。
神に新しい歌を奏でて、神をあがめ、
その名をほめ歌え。
神はいくさに勝利を収め、
その民の中に陣を敷かれる。

新しい歌を神に歌おう。
神よ、あなたは偉大、栄光に満ちておられる。
あなたの偉大な力に逆らえるものはない。
造られたものがすべて、あなたに仕えることができるように。
あなたのことばですべては生まれ、あなたのいぶきで生かされる。
あなたの声に逆らえるものはない。

山々が海とともにそのふもとから揺れ動き、
岩があなたの前でろうのように溶けても、
あなたはおそれ敬う者に、
いつもいつくしみを注がれる。

3. 旧約の歌 (ダニエル 3・52-57)

すべてのものは神をたたえる

わたしたちの先祖の神である主よ、あなたに賛美、
あなたは代々にたたえられ、あがめられる。
あなたの栄光の聖なる名に賛美、
その名は代々にたたえられ、あがめられる。

あなたの栄光、聖なる神殿の中であなたに賛美、
すべてにまさりあなたは代々にたたえられ、あがめられる。
玉座におられるあなたに賛美、
すべてにまさりあなたは代々にたたえられ、あがめられる。

ケルビムの上に座し、すべての深みを見通されるあなたに賛美。
あなたは代々にたたえられあがめられる。
大空の中であなたに賛美、
あなたは代々にたたえられあがめられる。

造られたものはみな神を賛美し、
代々に神をほめたたえよ。

4. 旧約の歌 (ダニエル 3・57-88、56)

すべてのものは神をたたえる

造られたものはみな神を賛美し、
代々に神をほめたたえよ。
天のすべてのものは神を賛美し、
神の使いは神をたたえよ。

空の上の水はみな神を賛美し、
天のすべての力は神をたたえよ。
太陽と月は神を賛美し、
空の星は神をたたえよ。

雨と露は神を賛美し、
すべての風は神をたたえよ。
火と暑さは神を賛美し、
冬の厳しさも神をたたえよ。

かすみと霧は神を賛美し、
霜と寒さも神をたたえよ。
氷と雪は神を賛美し、
夜も昼も神をたたえよ。

光とやみは神を賛美し、
稲妻と雲は神をたたえよ。

大地は神を賛美し、
代々に神をほめたたえよ。

山と丘は神を賛美し、
地に生える草木は神をたたえよ。
泉の水は神を賛美し、
海も川も神をたたえよ。

海の獣、水に住む生き物は神を賛美し、
空の鳥は神をたたえよ。
野の獣と家畜は神を賛美し、
すべての人は神をたたえよ。

イスラエルは神を賛美し、
代々に神をほめたたえよ。
神の祭司は神を賛美し、
神のしもべは神をたたえよ。

神に従う人は神を賛美し、
神を敬い、へりくだる人は神をたたえよ。
アナニア、アサリア、ミサエルは神を賛美し、
代々に神をほめたたえよ。

賛美は父と子と聖霊に、
代々に神をほめたたえよう。
神よ、高い大空の中であなたは賛美され、
すべてにまさり、代々にほめたたえられる。

5. 新約の歌 (エフェソ 1・3-10)

キリストによる救いの恵み

わたしたちの主イエス・キリストの
父である神をほめたたえよう。
神は、キリストによってわたしたちを
天にあるすべての祝福で満たしてくださった。

天地の造られる前からキリストのうちにわたしたちを選び、
神の前に清く汚れのないものとしてくださった。
わたしたちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、
神は愛のうちに初めから定めておられた。

ひとり子によってわたしたちに恵みを与え、
わたしたちはその恵みをたたえる。
わたしたちはひとり子の血によってあがなわれ、

神の豊かな恵みによって罪のゆるしを受けた。

神は恵みをわたしたちの上にあふれさせ、
英知をもってみ旨の神秘を示してくださった。
時が満ちればこのみ旨は実現され、
天と地にあるすべてのものがキリストのうちに集められる。

6. 新約の歌 (黙示録 11・17-18、12・10b-12a)

世界はすべて神のもの

昔も今も変わることのない主、全能の神よ、
偉大な力で万物を支配するあなたに、わたしたちは感謝する。
諸国の民の反逆に、あなたは聖なる怒りを現された。
今は死者の裁かれる時。

あなたのしもべ、預言者と聖なる民、
あなたの名をおそれるすべての人に、
今は報いが与えられる時、
地を滅ぼす者が滅ぼされる時。

今こそ神の救いと力と支配が現され、
神のキリストの権威が示された。
わたしたちの兄弟を訴えていた者、
神の前に、日夜訴えていた者は投げ落とされた。

小羊の血と、あかしのことばによって、
わたしたちの兄弟は彼らに打ち勝ち、
死に至るまでのちを惜しまなかった。
宇宙とその中に住む者は、みな喜び歌え。

7. 新約の歌 (黙示録 15・3-4)

礼拝の歌

万物の主、支配者である神よ、
あなたは偉大、そのわざは不思議。
諸国の民の王である主よ、
あなたは正しく、その道はまこと。

ただひとり、あなたは聖なるかた、
すべての人はあなたをおそれ、その名をたたえる。
あなたの正しい裁きは明らかにされ、
すべての国の民が来て、あなたの前にひれ伏す。

8. 新約の歌 (黙示録 19・1b、2a、4b、5b、6b、7)

小羊の婚宴

勝利と栄光と力はわたしたちの神のもの、
神の裁きは真実で正しい。
神のすべてのしもべよ、わたしたちの神を賛美せよ。
神をおそれ敬う者はみな、神を賛美せよ。

主は万物を支配され、
わたしたちの神である主は王となられた。
わたしたちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。
小羊の婚宴の時に来て、花嫁の支度はできた。